

感染症情報 4月29日～5月5日

府下小児科195医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	618例(堺市	69例)
②溶連菌感染症	452例(堺市	72例)
③RSウイルス感染症	365例(堺市	29例)
④手足口病	231例(堺市	22例)
⑤咽頭結膜熱	78例(堺市	6例)

府下303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 86例(堺市 10例)

報告数による順位。前週比36.9%減の1,857件であった。大型連休のため、診療実日数が少ないことを考慮する必要がある。

感染性胃腸炎が府下で前週比44%減、堺市で前週126例→今回69例。溶連菌感染症が府下で42%減、堺市で前週116例→今回72例。堺市の定点あたりは3.79で大阪府下のワーストのまま。RSウイルス感染症が府下で38%減、堺市で57例→29例であった。定点あたり大阪府は1.87、堺市は1.53であった。手足口病が府下で9%減、堺市で前週34例→今回22例であった。咽頭結膜熱が府下で14%減、堺市で前週1例→今回6例。

インフルエンザが府下で前週222例→今回86例で前週比61%減であった。堺市で前週17例→今回10例であった。定点あたり大阪府は0.73→0.28、堺市は0.59→0.34であった。

府下303医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 501例(堺市 37例)
大阪府定点 1.65 堺市定点 1.28

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
13	24	18	78	46	51	46	68	41	57	59	501

こちらもGWで実日数が少ないことを考慮する必要がある。新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回807例→今回501例は38%減、定点あたり2.65→1.65となった。堺市で前週96例→今回37例は61%減、定点あたり3.31→1.28となった。

麻疹や風疹の報告はなかった。